



資料1

令和5年度の食品ロス削減の取組みについて

食品ロス削減ネットワーク懇話会について

■食品ロス削減ネットワーク懇話会

【目的】食品製造業者、食品卸売・小売業者、外食事業者、消費者、行政等による「食品ロス削減ネットワーク懇話会」を設置し、流通全体で具体的な取り組みを展開し、食品ロス削減を目指す。

○全体会議（7月25日、3月28日）

各段階の情報交換や取組への意見など

○アップサイクルフード分科会

府内でアップサイクルフードを普及していく上での課題について意見聴取

【主な意見】

- ・製造に労力と時間がかかり、通常商品より高価になる。
- ・商品化には、未利用食品の確保と輸配送、商品製造、販売の全ての成立が必要。
- ・原料となる未利用食品の供給が不安定で、製造・販売の継続性に乏しい点がある。
- ・消費者に購入してもらうには、商品の魅力や説得力が重要となる。
（食品ロス削減効果、インパクト・PR効果、商品自体の魅力（おいしい、楽しい）等）

→これらを踏まえ、府として、事業者との取組等を通じ、原材料となる未利用食品・販売事業者等のマッチング、アップサイクルフードの魅力発信などについて協力していきます。



ネットワーク懇話会のイメージ

おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度について

■おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度

食品ロス削減に積極的に取り組むとともに、消費者に対して啓発を実施する事業者を後押しし、さらに取組みを進めるため、平成30年度に創設。



大阪府飲食業生活衛生同業組合

令和6年3月現在 **46事業者** (今年度新規 10事業者)

- ・新たな分野の参画 (組合、企画・広報)
- ・「食品ロス削減推進表彰」の受賞：株式会社ロスゼロ
- ・「おおさか環境賞」の受賞：森永製菓株式会社 西日本統括支店
- ・パートナーシップ事業者同士、市町村・他事業者との連携

envision

OZMA
PR



mizkan
やがて、いのちが変わるもの。



外食産業のパートナー
GF株式会社

大阪府から事業者への制度の紹介・呼びかけ
(資料配布930部、制度説明29社)



- ・セミナー等での紹介・資料配布：

ZERO FOOD WASTE交流会、府セミナー、近畿農政局フードバンク交流会

- ・食品関係展示会での資料配布：FABEX関西、FoodStyleKansai、ツーリズムエクスポジジャパン
- ・メールでの情報提供等

食品ロス削減「大阪モデル」実証実験について

【連携内容】

- ・東京海上日動火災保険株式会社（包括連携企業）、株式会社ロスゼロ（事業連携企業）、運送会社マグチグループが参画する『食品ロス削減コンソーシアム』、並びに大阪商工会議所、大阪府環境農林水産部の3者による事業連携協定を締結。
- ・同コンソーシアムでは、府内食品関連事業者から発生する未利用食品等の二次流通・利用を促すため、協定締結後からR5.10月末まで実証実験を実施。

実証実験概要

<目的>

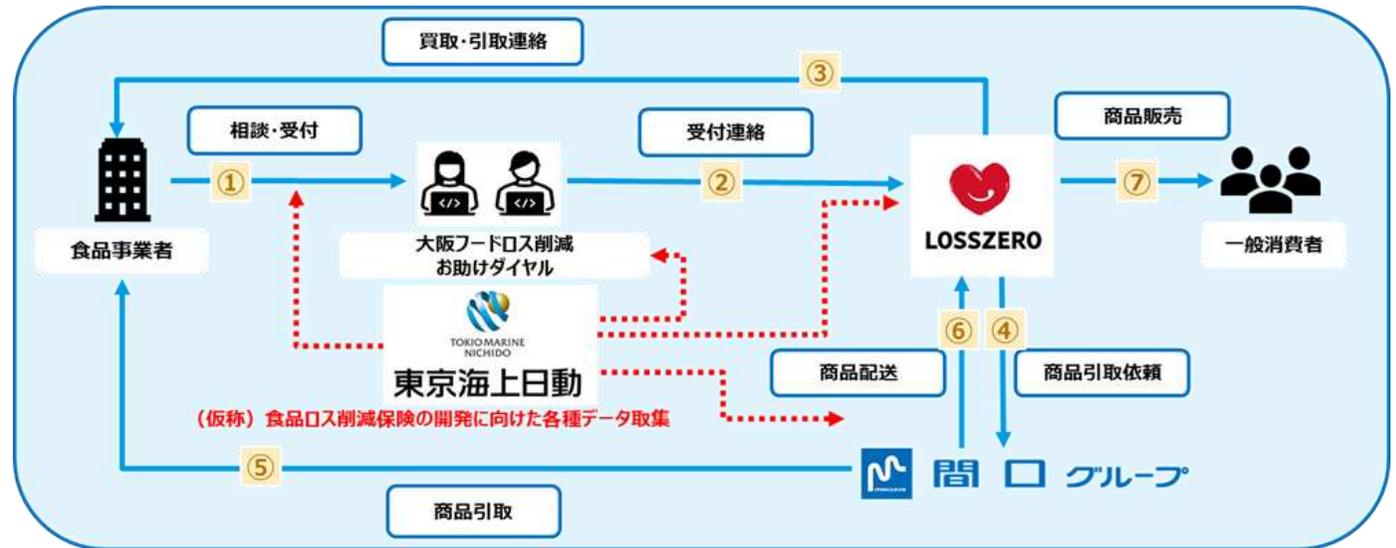
保険、流通などの他業種が連携し、府内の食品関連企業において、食品ロスが発生した際、商材・賞味期限に応じた最適な二次流通スキーム「大阪モデル」の構築を目指す。

<具体的手法>

- ・損害保険を活用した輸配送、再販コストの軽減
- ・輸配送事業者の配送の戻り便を活用
- ・フードシェアリングサービスを活用した再販

<実施期間>

令和5年5月17日～10月31日



< 取組みのフロー >

1. 相談・受付「お助けダイヤル」で食品事業者から相談を受け付ける。取扱いの不可を判断。
2. 受付連絡「お助けダイヤル」から「ロスゼロ」へ食品事業者からの相談内容を伝える。
3. 買取・引取連絡「ロスゼロ」から食品事業者へ買取と引取に関する連絡をする。
4. 商品引取依頼「ロスゼロ」から「マグチグループ」へ食品事業者への商品引取を依頼する。
5. 商品引取「マグチグループ」が食品事業者から商品を引き取る。
6. 商品配送 食品事業者から引き取った商品を「ロスゼロ」へ輸送する。
7. 商品販売「ロスゼロ」が消費者に商品を販売する。

食品ロス削減「大阪モデル」実証実験について

取組実績

(1) 再販売実績

- ・ **6社**から要望があり、菓子、調味料、輸入ドライフルーツ等の**約3万8千点**について、二次流通・再販売を行った。
- ・ このうち、マグチグループの大型トラックを使用した案件は、**2社・約3万5千点**であった。

食品	量	輸送	販売	取引のきっかけ
お中元・夏期洋菓子 (売れ残り返品)	3万点	マグチ トラック	定期購入・サイト 百貨店	菓子工業組合説明会
夏用和菓子 (取扱季節終了での返品)	350点	—	定期購入 百貨店	菓子工業組合説明会
輸入ドライフルーツ (表示内容不足での返品)	1,500袋	—	定期購入・サイト	金融機関からの紹介
カップスープ (1/3ルール返品)	1,200袋	—	定期購入	ロスゼロ メール配信 (お助けダイヤル利用)
調味料類	4,600点	マグチ トラック	定期購入 百貨店	ロスゼロ メール配信 (お助けダイヤル利用)
菓子 (賞味期限2か月で入替)	700点	—	定期購入	個別面談

(2) 成約実績

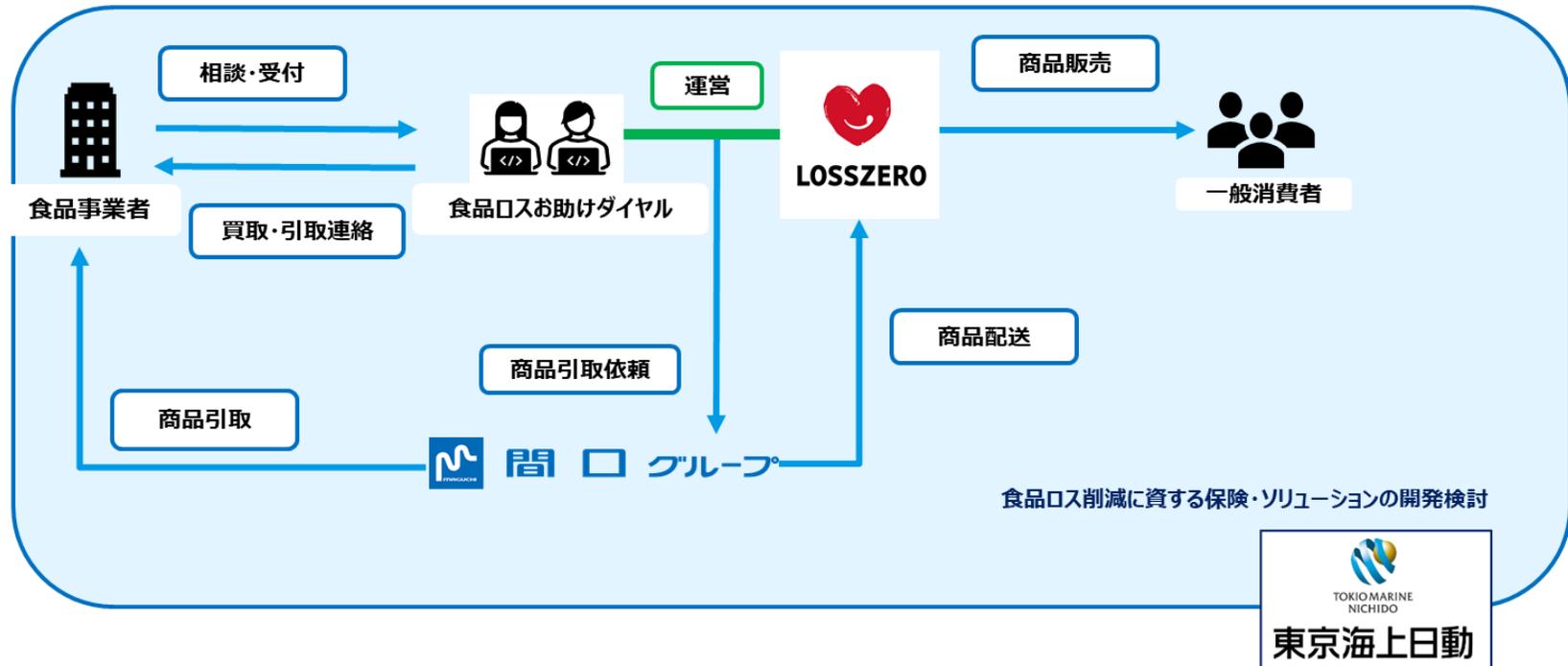
- ・ **5社**から要望があり、輸入ワイン、菓子、オリーブオイルについて、食品ロスが発生した際の二次流通・再販売について、調整を行った。(食品ロスの発生時に対応することで成約した。)

食品ロス削減「大阪モデル」実証実験について

今後の取組みの方向性

- ◆ 実証実験により、「大阪モデル」に適した食品の種類、輸送の方法、事業者から発生する食品ロスの実態など検証結果が得られたことから、より効率的な運営となるよう体制を整理した上で食品ロス削減コンソーシアムによるスキーム実践に移行する。

◆ 今後の「大阪モデル」スキーム



- 二次流通の説明を効率的にできるロスゼロが、大阪食品ロスお助けダイヤルを引き継ぎ、スキーム実践を行う。
- 東京海上日動は、実証実験で得られた知見をもとにした食品ロス削減保険特約を開発し、事業者への販売（来年度予定）を通じて、スキームの充実を図る。
- マグチグループは、経済性のあるボリュームの出品に対して、戻り便を利用した配送で参画する。

■もったいないやん活動隊とは

2030年度の目標達成を目的として、食品ロス削減の取組み推進や普及啓発のために、食品ロスについて学び、地域活動や学校への出前講座など多様な分野で積極的に活躍していただくボランティアのみなさま

令和4年度隊員 17名登録



■もったいないやん活動隊養成講座

活動隊員に食品ロスに関する正しい知識を身に着けていただくために開講座学講座だけでなく、啓発活動やボランティア活動を実際に体験できる実習も併せて受講できる実践的な内容

<令和5年度養成講座内容>

- ・先輩活動隊員による活動紹介
- ・事業者の食品ロス削減取組み紹介
(おおさかパルコープ・日本農業株式会社・辰巳環境開発株式会社・株式会社ロスゼロ)
- ・ボランティア活動の基礎知識
(京都市環境保全活動推進協会)
- ・体験実習(カードゲーム出前講座・フードドライブ仕分け作業・食べきり料理教室)



令和5年度隊員 16名登録



■啓発イベントの実施

イベント開催の場で、活動隊員とともに「なんでやろう?食品ロス」カードゲームなどの啓発ツールを活用した啓発イベントを開催し、消費者啓発を推進しました。

おいしく食べきり！親子クッキング &「なんでやろう？食品ロス」カードゲーム体験教室

■プログラム

- ・おいしく食べきり！親子クッキング：
冷蔵庫に残りがちな野菜や、年末年始に余りがちな牛乳を使った簡単な食べきりレシピを、環境に気を付けながら親子で調理体験
- ・「なんでやろう？食品ロス」カードゲーム：
どうして食品ロスが発生するのか、遊びながら学べるカードゲームを子ども同士で楽しく体験

■協力

- ・大阪ガスネットワーク株式会社（会場・スタッフ、参加者特典(ふきん・まな板)）
- ・株式会社Mizkan
（「大阪産(もん)でもったい鍋レシピ集」リーフレット
・料理教室で使う調味料、参加者特典(もったい鍋に使う調味料等)）
- ・一般社団法人大阪府牛乳協会
（「カラダと牛乳」ブック、料理教室で使う牛乳、参加者特典(ロングライフ牛乳)）

■参加者(小学生以上の子どもとその保護者) 29組58名

■参加者より

- ・食品ロスについて、子どもがとても興味をもつことができた。
- ・「もったいない」の勉強になったし、すごくおいしかった。本当に参加してよかった。



▲親子クッキング



▲活動隊員によるカードゲーム体験

食品ロス削減総合実践エリア推進事業

日常生活の中で食品ロス削減やその他の環境に配慮した取組みを自発的に行う機会を生み出すことで、持続可能な社会の実現に寄与することを目的に、市町村、実践エリア（ショッピングモール）と連携し、エリア内での食ロス削減の取組みや啓発活動を実施しました。

◎実施場所、実施期間

じゃんぼスクエア河内長野 令和5年9月29日～10月29日

イオン藤井寺ショッピングセンター 令和5年10月20日～11月26日



主な取組み

	項目	備考
広報・啓発	実践事業の周知	ホームページ（府、市、事業者） 広報紙、チラシ（市、事業者） SNSでの周知（市） イベントと連動した近隣小学校等への呼びかけ（市・事業者）
	エリアのイベントとの連携	河内長野市：「食品ロス」をテーマにしたはがき絵展示会 藤井寺市：ふじいでら市民まつり
	「なんでやろう？食品ロス」カードゲーム体験イベント	
	フードドライブ開催	
店舗での取組み	家庭でおいしく日持ちする保存方法等をコトPOPで情報発信	スーパー、テナント小売店
	「買わなきゃもったいないセール」	テナント小売店
	「おいしく食べきり」キャンペーン	テナント飲食店、フードコート飲食店

食品ロス削減啓発イベントの実施

- (1) 「なんでやろう？食品ロス」カードゲーム体験を実施。
- (2) 「おいしく食べきろう」ロゴマークの缶バッジ製作体験の実施。
- (3) 食品ロスを減らすための食べきりレシピや保存方法などの紹介やポスター等の掲示
- (4) 「食品ロス」をテーマにしたはがき絵展示会（河内長野市）
- (5) (株)TEN-TWO（おおさか食品ロス削減パートナーシップ事業者）との連携（藤井寺市）
→カードゲーム・アンケート参加者に「おからクッキー」配布

フードドライブの開催

- ・市、ショッピングセンターから事前周知し「フードドライブ」を開催。
- ・集まった食品は、市社会福祉協議会やフードバンク団体を通じて、子ども食堂などの団体に提供された。



▲「なんでやろう？食品ロスカードゲーム」の様子



▲展示はがき絵（一例）



▲缶バッジのデザイン



▲フードドライブの様子

2 店舗における食品ロス削減の取組み

■小売店 家庭でおいしく日持ちする保存方法等をコトPOPで情報発信

・協力店舗（スーパー、青果店等）における「売れ残りがちな品目」及び「家庭で廃棄されがちな食品・食材」等から抽出・選定した品目について、食品が長持ちする保存方法や調理方法など、商品を購入後に実践できるワンポイントアドバイスを添えたコトPOPを店内に掲示し、家庭向け食品ロス削減方法を啓発。

■飲食店 「おいしく食べきり」キャンペーン

(1) 三角柱・トレイシートによる呼びかけ

・協力店舗において、三角柱等の掲示による食べ残し削減に向けた啓発活動を実施

(2) 「食べきったらキッズおかいものけん」の配付（藤井寺市）

・実施協力7店舗で完食できた小学生以下のお子さまに、特典（キッズおかいものけん100円分）をプレゼントし、食べ残しをなくすキャンペーンを実施。



▲コトPOP配架の様子(一部)



▲食べきりを促す三角柱による呼びかけ



▲食べきりを促すトレイシートによる呼びかけ